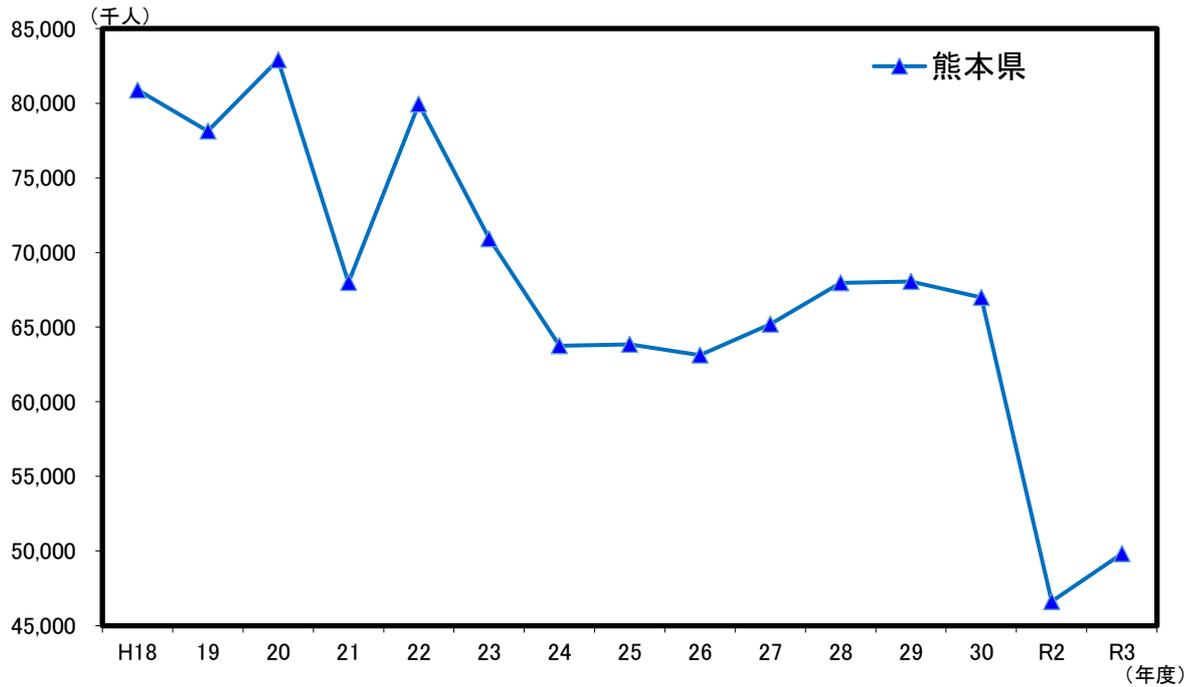


熊本県の自動車貨物輸送量の推移



解 説

【概要】

令和3年度の県内自動車旅客輸送人員は23,322千人で全国の3,467,175千人の0.7%を占めた。

また、令和3年度の自動車貨物輸送トン数は49,825千トンで全国3,888,397千トンの1.3%を占めた。

本県の自動車貨物輸送量の推移をみると、平成20年度には82,896千トンとなった。しかし、その後は減少増加を繰り返し、令和3年度は49,825千トンまで減少したが、前年度から伸びた。

○自動車旅客輸送人員

都道府県別輸送量は、「自動車輸送統計年報」の地方運輸局別輸送量を、運輸支局別登録自動車数の比率（各年度末）により推計したものである。ただし貨物自動車及び軽自動車の分は含まない。

○自動車貨物輸送量

都道府県別輸送量は、「自動車輸送統計年報」の地方運輸局別輸送量を、運輸支局別登録自動車数の比率（各年度末）により推計したものである。ただし、特殊用途車を含み、軽自動車は含まない。

○一人当たり自動車貨物輸送量

自動車貨物輸送量÷国勢調査（令和2年10月1日現在）

○普通倉庫

法律上の分類による一類、二類、三類、野積、貯蔵槽、危険品倉庫。

資料出所	調査期日	調査周期
*1、*2、*3「自動車輸送統計年報」 国土交通省 *4「倉庫統計季報」 国土交通省	令和3年度 令和2年度	毎年